

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号: 2 事業名: 県民文化祭開催費補助金

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
五味アドバイザー	<p>事業費の内訳のうち、地域フェスティバルで通常事業と特別事業とあるが、実際どのような事業の経費として使われているのか、主なところでよいので示すように。</p> <p>ここから先は、団体の方が自由に使えるのか。</p>	<p>田中課長補佐</p> <p>田中課長補佐</p>	<p>通常事業は、様々な芸術文化団体の事業を公募して、委員会で選定している。具体的な事業としては、パンフレットの地域文化イベントに掲載している事業であり、それぞれの文化団体が実施する事業に対して助成するのが、通常事業(助成事業)である。</p> <p>補助の対象となる経費を需要費、使用料賃借料、役務費の3種類としている。事業を審査し、対象経費の2分の1で、概ね3万円を補助するが、予算が90万円と決まっているので、助成の数によっては、3万円より低い補助額となる。また、助成事業で、初年度のものについては10万円という枠でとってあるものもあるので、事業内容によっては、3万円を超える助成額となる事業も、年によるが数本ある。</p> <p>次に、特別事業の「まちなかステージ」についてであるが、パンフレットに記載のあるように、まちなかアーティストが、まちのいたるところで音楽やダンスのパフォーマンスを披露している。28年度は、年間を通じて30回開催した。まず、県事務局で、まちなかアーティストの登録を広く県民に促し、まちなかアーティストの名簿を作成する。その後運営を委託業者にまかせて、北口広場や、河口湖ハーブフェスティバルなどのイベントにあわせたり、独自でやったり、年30回、音楽などの様々なジャンルのステージを実施している。</p>

(様式1)

(平成29年8月24日 生涯学習文化課)

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号: 2 事業名: 県民文化祭開催費補助金

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
五味アドバイザー	聞きたかったのは、60万円がどう使われているかということ。	田中課長補佐	60万円は委託料である。
五味アドバイザー	平成28年度はどこに委託しているか。	田中課長補佐	「ライジングサン」である。県内の会社である。
五味アドバイザー	29年度が大幅に減ったのは。	田中課長補佐	平成28年度までが、180万円である。平成26、27、28年度まで年間30回開催していたが、平成29年度は、回数を10回に減らしている。 続いて「伝統文化の祭典」であるが、県民文化ホールで、平成28年度はお神楽を、委託により開催した。262万5千円は委託料である。
五味アドバイザー	これもライジングサンか。	田中課長補佐	委託先は、アドブレーションである。
五味アドバイザー	通常事業は、直接参加者に助成が出来るが、特別事業は委託先にまとめて払っているの、そこから先の使い道はわからないのか。	田中課長補佐	まちなかステージは、イベントを運営してもらっているの、運営にかかる機材や人件費にかかる経費である。伝統文化の祭典は、会場使用料、広告宣伝費、当日の司会等運営にかかるもの、出演にかかる準備金などであり、内訳については事務局で把握している。
五味アドバイザー	伝統文化の祭典については、出演者に出演料報酬のようなものが支払われているのか	田中課長補佐	練習など、出演に係る経費ということで、準備金として支払っている。

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号: 2 事業名: 県民文化祭開催費補助金

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
五味アドバイザー	他のイベントで出演者に準備金が支払われる例はあるか	田中課長補佐	ない。
諸平アドバイザー	地域フェスティバルのうち、通常事業は金額がほぼ同じで、地域文化イベントは、事業がいくら増えてもこの金額でわりふるといふことか。	柏木課長	なるべく多くの方に助成したい。金額は枠で決まっている。多くの方に助成する考えから、助成数に応じて対象事業費の2分の1以内で助成額を決めている。
	事業費の2分の1という縛りがあるのか。	柏木課長	対象事業費の2分の1という縛りがある。
	事業によっては、会場を借りていたり、市役所内の展示室で費用がかからないような事業も見受けられるが。	柏木課長	対象事業費の2分の1以内で、なるべく多くの団体に助成したいので、予算の枠内で、工夫して配分している。
	経費のこと、事務の時間をみても、沢山かかると想像がつく。先ほどの話に戻るが準備金という話がでたが、出た方には一人いくら位支払ったのか。	田中課長補佐	伝統文化の祭典では、1団体5万円である。昨年は、3団体出ている。
五味アドバイザー	伝統文化の祭典は、記録集でどの部分か。	田中課長補佐	記録集の7ページである。昨年度は、山梨岡神社の太々神楽、室伏打囃子、西島の神楽の3団体に出演していただいた。

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号: 2 事業名: 県民文化祭開催費補助金

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
諸平アドバイザー	この選定は、毎年こちらから依頼しているのか。	田中課長補佐	毎年テーマをきめて、去年は、「春の歓び・春の祈り」をテーマにしたので、春に実施するものを、県で交渉して出演していただいた。一昨年は、獅子舞をテーマにしており、テーマに沿って毎年事務局で交渉している。
諸平アドバイザー	<p>事業費の内訳のうち、入場料収入とあるのは、総合フェスティバルの入場料ということでよいのか。入場料はいくらか。</p> <p>実行委員会の経費はどういうことに使われているか。</p> <p>経費をみると、総合舞台が占める割合が多いが、関わっている人、団体が多いからか。</p> <p>国民文化祭派遣事業は、毎年経費が変動しているが、その理由は。</p>	<p>田中課長補佐</p> <p>田中課長補佐</p> <p>田中課長補佐</p> <p>田中課長補佐</p>	<p>記録集の4ページの、総合舞台「夜渡るつばさ」の入場料であり、入場料は、一人千円、子供は500円である。</p> <p>会議を2回開催しており、その開催にかかる経費である。他に、ポスター、冊子など、全体を網羅する広報資料の作成費、公募部門で入賞者に授与するメダル等の経費として使っている。</p> <p>それもあるが、文化ホールを借りているので、その使用料もかかっている。</p> <p>国民文化祭は毎年開催県がかわっており、交通費の半額を上限として助成しているため、開催地が遠ければ経費がかかる。去年は、愛知、今年は奈良である。</p>

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号: 2 事業名: 県民文化祭開催費補助金

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
諸平アドバイザー	<p>派遣されている方は、固定されてきているか。</p> <p>年齢的にはどれ位か。</p> <p>なぜ、年齢をきいたかという、保健福祉部のいきがい事業でも派遣事業があり、そちらでも世代間交流をしたらどうか、という話がでているが、こちらの事業は、幅広い年齢層の参加があり、世代間交流ができていていいなと思った。</p> <p>参加人数の把握はどのようにしているか。</p>	<p>田中課長補佐</p> <p>田中課長補佐</p> <p>田中課長補佐</p>	<p>主催県から県に、照会がきて、県から市町村、関係団体、参加実績のある団体に広く募集はするが、ある程度固定化されている。</p> <p>かるたは、40代位か、邦楽は年齢層が高い。</p> <p>総合舞台、総合展示は、直営でしているの、その場で把握できたり、受付のカウンタで把握している。部門別フェスティバル、文化イベントは、報告数値である。</p>

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号: 2 事業名: 県民文化祭開催費補助金

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
小口アドバイザー	<p>県の方でかなり長い時間を必要とされているわけで、各フェスティバルを自主運営にすることで時間数を減らしていきたいという方向が出されている。実際に28年度から29年度にかけてみると、トータル時間はほとんどかわっていないというなかで、自主運営が進んでいけば、かなり削減できると考えているか。</p> <p>年代別の内訳が一部出されたが、これは観覧者の内訳ということか。出演者は毎年きまっているのか。</p> <p>これからの課題として、外国人の方にもきていただきたいという話があったが、具体的にどんなものをみていただきたいと考えるか。周知の方法としてどんなことを考えるか。</p>	<p>田中課長補佐</p> <p>田中課長補佐</p> <p>柏木課長</p>	<p>28年度から29年度にかけて、新ジャンル部門のやり方を見直したことで、数十時間の減となっている。29年度は新規事業を直営とする部分があるので、その分が増えているが、なるべく時間の削減ができるよう努力しているところである。</p> <p>年代別の内訳は、観覧者である。例えば、総合舞台であれば、若い世代の出演があると、それだけ観に来ていただく方の範囲も広がるので、若者にも参加してもらおうということで、年代的には幅広くやっている。総合展示については、指導的立場の先生の作品展示をしているので、年齢層は高い。まちなかステージの出演者の年齢層は20代から70代まで出演者の年齢層は幅広い。</p> <p>外国人は太鼓に非常に興味があるので、今年は文化交流フェスティバルで太鼓の関係をやろうと思っている。また、部門別フェスティバルの参加促進事業でも太鼓教室、邦楽の尺八教室があり、これらにも外国人の参加がある。</p>

《様式1》

(平成29年8月24日 生涯学習文化課)

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号: 2 事業名: 県民文化祭開催費補助金

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
小口アドバイザー	<p>全体の参加者のなかで、全体では県民の4割程度が参加していることになるが、内訳をみると市町村の文化イベントがかなりのウエイトを占めているが、この事業が始まったときから、市町村の文化イベントもあわせて企画運営してきているのか。</p> <p>県としては、市町村文化イベントは広報するだけで、何か企画運営するということはないのか</p> <p>そうであれば、県として参加者を増やすのは広報誌ぐらいか。</p> <p>以上で終了</p>	<p>田中課長補佐</p> <p>田中課長補佐</p> <p>田中課長補佐</p>	<p>英語のパンフレットをつくって、国際交流センターや大学に配付し、留学生などに広報、周知し、参加してもらいたいと考えている。</p> <p>市町村文化イベントは、市町村、文化協会が運営主体であるが、含まれている。</p> <p>はい</p> <p>はい</p>